

Cさん：親の希望で日本へ、でも

Cさんは、生まれも育ちもアメリカです。現地で日本の企業を取引先とした会社を営んでいるご両親の一人娘として、育てられました。

ご両親は、事業を将来Cさんに引き継がせる希望を強くお持ちでした。そのため、幼い頃から日本からのお客さんにも積極的に引き合わせ、日本語・日本文化に触れる機会を多く作られました。将来は、日本の大学へ進学して、日本流のビジネスを学んで欲しい、と強く望んでいました。

しかし、Cさん自身は、アメリカの大学で芸術を学びたい希望。そのため、現地校の勉強はがんばっていました。それと並行して、帰国生大学受験準備の塾に通っていました。ただ、その理由は、日本人高校生が多く集まり楽しい時間が持てるからで、決して日本語での勉強のためではありません。

本人の希望通りに、12年生の秋にアメリカの難関州立大学に出願し、見事に合格を勝ち取りました。

しかし、ご両親は日本の大学をあきらめられず、本人・ご両親、さらに私をまじえて何度も話し合いがもたれました。その結果、「とにかく、いい機会だから、あなたが受けてみたいと思う日本の大学、1校だけでもいいから受けてみて」という、ご両親の希望を受け入れて、「帰国ギャル」でよく話題になる私立有名校だけを「記念受験」することにしました。それも、日本語力をもっとも要求される「文学部」です。

ところが、現地校の成績が良いのと、面接でも楽しくお話をできたようで、その大学に合格してしまいました。そうすると、ご両親は「アメリカの大学へのお金は出さない」と「日本の大学」を強制しはじめて、Cさんは結局この大学に進学することに。

「松本先生、Cの日本語をよろしく」と、入学までの半年間で特訓することに。中学1年の教科書の「坊ちゃん」を読んでもらうと、これがほとんどだめ。「え、文学部!？」

こんな日本語力にもかかわらず、負けず嫌いのCさん、「レポートは英語で」と先生に交渉したりしてがんばって、4年でしっかり卒業です。

卒業後、日本でテレビ番組制作の会社に勤務しましたが勤務でダウン。ご両親の説得に応じてアメリカに帰国。大学院で映画の勉強をして、賞までもらうほどに熱中しました。

現在は結婚し、ご両親の仕事を継ぐ準備を進める傍ら、映画の仕事への「夢」を膨らませています。

今年のご両親からのクリスマス・カードに、「Cがお世話になりました」やっぱり、僕が日本の大学へ行かせたことに？

Dさん：渡米するのはもったいない？

Dさんは、東京で1・2を争う女子中高一貫校に必死の努力で合格し、有名大学に向けて勉強する中学2年生でした。

ところが、父親のロサンゼルスでの数年間の駐在が決まり、一緒に渡米するかどうかの家族会議がくり返し開かれました。折角これまでがんばってきた大学進学への希望は？ アメリカの学校での英語の勉強についていけるのか？ 現地の高校を卒業したあとの大学進学は？ と、失望と不安ばかりでしたが、好奇心の強いDさんの「行ってもいいよ」の言葉で決まりました。

中学受験で培った学力と、負けん気の強い性格が助けとなって、ESLも1年少しで出て、レギュラーのクラスでもいい成績を残していました。

現地校の成績も上がってきたところで、学校のカウンセラーとの進路の話し合いがあり、アメリカの難関大学への進学を目指すように強く勧められました。それを機会に、日本の大学も含めた、進学の方を決めるための話を家族で続けました。

お父さんは大学で物理を勉強した方で、漠然とですが、Dさんにも理系の分野へ進むような環境を作っておられ、Dさん自身もその気になっていました。また、一人娘だったので、一人でアメリカに残すのを嫌がったお父さんの希望も入れて、「日本の大学、できれば国立の理科系の学部」と方針が決まり、理系科目の勉強を始めました。

そこで、私が数学を教えることになりました。Dさんは数学が大変よくできました。さすが理系希望。ところが、空間ベクトルの勉強をしている時、突然、学習内容が理解できなくなりました。これでは理系は無理ではと考え、本人・お父さんに理系進学の是非について話をしました。お父さん自身が空間ベクトルを教えてみて「3次元のイメージがつかめないのでは、理系は無理」との結論を出されました。

しかし、それ以外の数学の分野は非常に良くできるので、その能力が生かせる文系分野ということで、親子で話し合って、帰国生入試で国立大学の「経済学部」を第一希望に決められました。

方向が決まったDさんの勉強は、その後順調に進み、帰国生入試で有名国立大学の経済学部に予定(?)通り合格。タイミングよく、お父さんの任期終了にあわせ、家族揃って日本に帰国しました。

その後、Dさんとは音信不通になってしまいました。3年ほど前に早稲田大学の私のクラスの受講生が外資系の企業の入社試験を受けたところ、「私もロサンゼルスに居たことがあるのよ」の言葉から、その試験官がDさんだと分かりました。